

令和元年度 施策評価シート（平成30年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち  
施策 06 防犯対策の推進  
主管課： 交通防災課  
関係課： 経済課、学校教育課、生涯学習課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	市民が犯罪から守られ、被害に遭わないまちをつくります。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

人口千人当たりの刑法犯認知件数（年間）						（件）	交通防災課
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）		
11.40	9.03	7.67	7.67	7.67	7.50		
向上指針	下がると良い	（状況）基準値と比べると3.73件、前年度に比べると1.36件減少しています。 （原因）自治会や防犯連絡員等による継続的な防犯パトロール、夜間の照度確保を目的としたLED防犯灯及び犯罪の未然防止を図るため設置された防犯カメラ等による抑止力が要因と考えられます。					
対前年度	向上						
目標達成度	高						
次年度課題	課題としない						

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	65,644	188,760	94,979	85,522	100,466
人件費	6,851	10,320	10,212	0	0
トータルコスト	72,495	199,080	105,191	85,522	100,466

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
01 防犯意識の向上	向上					0	0	0	0	0
02 地域で行う防犯活動の推進	向上	向上				15,030	7,038	13,809	15,497	30,441
03 まちの防犯機能の充実	向上	向上				44,902	176,091	75,597	63,646	63,646
04 消費者の安全・安心の確保	横ば	維持	向上			5,712	5,631	5,573	6,379	6,379

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

児童生徒の安全を守るため、学校・保護者・地域と連携した防犯パトロール等を強化することで、犯罪の抑止に努めます。 防災子ども安全交付金等の活用により、LED防犯灯、道路照明灯及び公園・遊歩道灯の計画的な整備を進め、犯罪の未然防止に努めます。 多様化する消費者トラブルに対応するため、消費生活相談員のスキルアップや相談体制の強化により情報収集に努め、市民に的確な情報提供と対応を行います。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

自治会や防犯連絡員による地域ぐるみの防犯パトロールの実施と学校、保護者、地域による通学での753運動により見守り活動を実施しました。 また、平成30年度には新たに防犯カメラ10台を設置し、監視カメラを含め合計159台で犯罪の未然防止に努めるとともに、ドライブレコーダーを設置している自動車へ「防犯カメラ作動中」のステッカーを配布し、犯罪の抑止に努めました。 今後も引き続き、LED防犯灯やカメラを整備し、安全で安心なまちづくりを進めていきます。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

防犯ボランティア等によるパトロールの継続、防犯指導員等の防犯講話や自宅の防犯点検を通じて、市民の防犯意識の向上を図り、犯罪の未然防止に努めます。 また、防犯カメラの計画的更新を実施し、引き続き、抑止効果を高めます。 さらに、架空請求や還付金詐欺など消費者トラブル防止のため、被害防止の情報提供や相談員の能力向上に取り組みます。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加